

Astemoダイアグノスティックツール HDM-350ソフトバージョンアップ情報

ソフトバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。

[HDM-350ソフトバージョンアップ手順](#)

※「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示される場合は本書の2ページ目を参照してください。

≪日産≫Ver.8.10

■キャラバン(E26/4N16ディーゼルエンジン搭載車/「手動選択」で実行時のみ)で下表のシステムに対応しました。

	故障コード読取	故障コード消去	データモニター	アクティブテスト	作業サポート
エンジン	○	○	○	○	○
ADCM	○	○			○

○=サポート 空欄=サポート無し

■上記のキャラバン(E26/4N16ディーゼルエンジン搭載車)でのアクティブテスト、作業サポートの対応機能は下表の通りです。

システム	機能区分	機能名
エンジン	アクティブテスト	<ul style="list-style-type: none"> ●グローランプ ●EGRクーラーバイパスソレノイド ●燃料噴射量補正 ●アイドルアップ(EOL) ●サブライコントロールバルブ作動 ●燃料ポンプ駆動 ●燃料漏れチェック ●クーリングファンLow ●クーリングファンMiddle ●クーリングファンHigh ●グローリレー ●SCRシステム警告リセット
	作業サポート※	<ul style="list-style-type: none"> ●DPF再生 ●DPF交換時クリアー ●サブライポンプ学習初期化 ●フューエルインジェクター#1ON ●フューエルインジェクター#1OFF ●フューエルインジェクター#2ON ●フューエルインジェクター#2OFF ●フューエルインジェクター#3ON ●フューエルインジェクター#3OFF ●フューエルインジェクター#4ON ●フューエルインジェクター#4OFF
ADCM	作業サポート※	<ul style="list-style-type: none"> ●低圧燃料ポンプ駆動許可 ●DPF初期化 ●尿素インジェクター1噴射テスト ●尿素インジェクター2噴射テスト ●尿素ライン引き戻しテスト ●尿素ポンプ初期充填テスト ●尿素水圧送&噴射テスト ●SCRシステム交換後テスト ●尿素水リークテスト ●SCR触媒1初期化 ●NOxセンサー1初期化 ●NOxセンサー3初期化 ●SCR排気温度センサー初期化 ●酸化触媒初期化 ●尿素インジェクター1初期化 ●NOxセンサー2初期化 ●SCR触媒2初期化 ●尿素インジェクター2初期化 ●尿素タンクレベル更新 ●尿素インジェクター1積算噴射量リセット ●尿素インジェクター2積算噴射量リセット ●尿素消費量異常診断リセット ●尿素レベル/品質センサーソナーテスト ●SCRシステムテストテスター取り外し可能プラグ

※システム「8chCANゲートウェイ」搭載車両は実行不可

≪海外でのHDM-350の使用について≫

■HDM-350は日本国内用専用モデルですので、海外では使用しないでください。

■海外ではサービスを提供していませんので、ご注意ください。

(次ページに続きます)

≪「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示された際の対応について≫

PC上でアップデートツールをクリックして下図のメッセージが表示された際は、下記の1項または2項をご参照の上、アップデートツールのバージョンアップを行ってください。



1.2025年5月30日～2025年9月30日までに診断ソフトのバージョンアップをされているユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の1～2ページの操作を行ってください。

[ダイアグノスティックツールのダウンローダーアップデート作業に関するエラーメッセージ表示について](#)

2.新規ユーザー登録を2025年5月29日以前に行い、かつ、2025年9月30日まで診断ソフトのバージョンアップをされていないユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の操作を行ってください。

[HDM-350ダウンローダーのアップデート手順](#)